リハビリトピックス　vol. 31

ボバース記念病院 リハビリテーション部ST

脳性まひをはじめとする小児期・青年期発症の運動障害をもつ方々に対して、特に「食べること」「コミュニケーション」に対して援助を行っています。対象は、乳幼児期～学童～青年期まで幅広く、長期的な支援を行っています。

椅子で食べる練習中

食事

安全に食べられるように姿勢や食形態を検討、口の運動の発達を促す練習などを行います。

コミュニケーションブックでやりとり

コミュニケーション

遊びの中で基礎的なコミュニケーションの練習や、代替手段を使ったやりとり練習、構音練習などを行います。

スーパービジョン

教育体制

座学や実技練習などの研修以外にも実際の治療場面での指導（SV：スーパービジョン）を受けることができます。

カンファレンス中

多職種連携

PT・OTと連携しながら、食事の姿勢設定を考えたり、声を出しやすい・話しやすい設定などを検討したりします。